

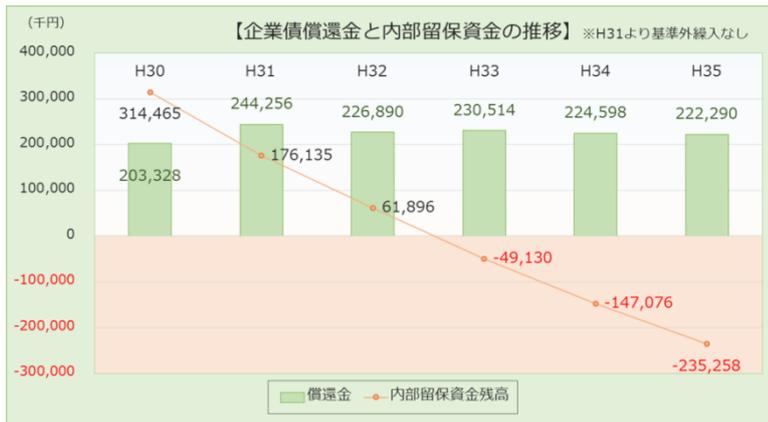
# 水道の未来を考える vol.4

## ●北広島町水道事業の運営資金について●

水道事業は、サービス提供前から巨額の投資が必要であり、また、世代間負担の公平性を保つため莫大な借金を負い事業をスタートさせています。

北広島町水道事業では、毎事業年度の借金の返済額が2億円を超えており、そのうち約1億円を繰入基準外の一般会計繰入金（町が赤字部分を補っている部分）によって賄っているのが現状です。

### 【現在の水道事業において、町からの繰入金がない場合の資金推移見込み】



■企業債償還金・・・国などからの借金を返済するためのお金

■内部留保資金・・・予算の補てん財源として使う、一般家庭でいう「貯金」のような性格のお金

町からの繰入れがなければ、平成33年度には資金不足となってしまう、事業の継続が困難になります。

資金繰りは企業運営の要であり、十分な資金がなければ投資のタイミングを逃してしまいます。目下の借金返済のために一般会計からの繰入に頼らざるを得ない状況であるため、耐震化といった投資がなかなか進んでいないのが現状です。

## ●事業継続のために必要な繰入金●

水道事業で従前の資金残高を確保していくためには、どのくらい町から補ってもらわなければならないのか、今後5年間でみた場合は次の表のような見込みとなっています。

### ■現行料金の場合の基準外繰入金見込み

H31	H32	H33	H34	H35	算定期間合計
1億4,000万円	1億1,500万円	1億1,000万円	9,500万円	9,000万円	5億5,000万円

### ■料金110%改定の場合の基準外繰入金見込み

H31	H32	H33	H34	H35	算定期間合計
1億1,000万円	9,000万円	8,500万円	7,000万円	6,000万円	4億1,500万円

### ■料金120%改定の場合の基準外繰入金見込み

H31	H32	H33	H34	H35	算定期間合計
9,000万円	6,500万円	5,500万円	5,000万円	3,000万円	2億9,000万円

110%の料金改定をすると、約1億3,500万の繰入金を抑制することができる見込み。

120%の料金改定の場合は、約2億6,000万の繰入金を抑制することができる見込み。

繰入金についてだけではなく、施設投資、耐震化等もふまえた上での経費の抑制も考えながら、より健全な事業運営を目指す必要があります。

お問合せ先

北広島町役場 上下水道課

IP☎ 050-5812-1861